

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

朝霞市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県朝霞市

3 地域再生計画の区域

埼玉県朝霞市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、現状は増加傾向にあるものの、住民基本台帳を基にした人口推計によると令和 22 年（2040 年）をピークに人口減少に転じ、令和 52 年（2070 年）には 123,880 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は令和 3 年（2021 年）の 19,485 人をピークに減少し、令和 7 年（2025 年）には 18,827 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は令和 3 年（2021 年）の 27,781 人から令和 7 年（2025 年）には 28,703 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。一方、生産年齢人口は、現在も増加傾向となっている。

自然動態をみると、出生数は減少傾向となっており、令和 6 年（2024 年）には 1,112 人となっている。その一方で、死亡数は令和 6 年（2024 年）には 1,275 人と増加傾向となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲163 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、令和 6 年（2024 年）には転入者（9,781 人）が転出者（8,642 人）を上回る社会増（1,139 人）であったが、令和 42 年（2060 年）には転出入均衡の状態となる見込みである。

このように、人口の減少は出生数の減少や死亡数の増加（自然減）のほか、今後予想される転入者の減少（社会減）等が原因と考えられる。

人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域

産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、デジタルの力を活用しつつ、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1：安全に、安心して暮らせるまち
- ・基本目標2：自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち
- ・基本目標3：快適に暮らせる、にぎわいのあるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	防災施策に対する市民の満足度	35.4%	43.0%	基本目標1
ア	自主防災組織の結成率	75.6%	84.0%	基本目標1
ア	消防団の充足率	89.8%	100%	基本目標1
ア	市内における人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	6.94件	4.50件	基本目標1
ア	地域福祉活動への参加団体数	150団体	233団体	基本目標1
ア	高齢者・障害者の虐待通報件数	65件	74件	基本目標1
ア	新規就労者数(生活保護受給者+障害者+シルバー入会者)	316人	359人	基本目標1
ア	見守りサービス利用者数(高齢者+障害者+その他)	792人	962人	基本目標1
ア	要保護児童対策地域協議会個別支援会議で協議した人数	48人	40人	基本目標1

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	こどもの居場所づくりを 推進する団体数	30団体	33団体	基本目標1
ア	養育支援訪問事業	12件	24件	基本目標1
ア	子育て世帯訪問支援事業 の利用件数	0件	24件	基本目標1
ア	保育園待機児童数	17人	0人	基本目標1
ア	健康寿命	男 18.13年 女 21.15年	男 19.41年 女 21.83年	基本目標1
ア	予防接種率(A類)	92.6%	95.0%	基本目標1
ア	市レセプト点検による過 誤調整の効果額	6,965,000円	8,000,000円	基本目標1
イ	埼玉県学力・学習状況調査 の質問紙調査における「将 来の夢や目標をもってい ますか。」の回答状況	79%	100%	基本目標2
イ	埼玉県学力・学習状況調査 における「学力を伸ばした 児童生徒の割合」達成状況	11教科/11教科	11教科/11教科	基本目標2
イ	学校に行きづらい児童生 徒へのICT支援実施率	35%	90%	基本目標2
イ	教育委員会アンケート(こ ども対象)において「学校 はICTを活用した教育 を推進している」の回答状 況	86%	90%	基本目標2
イ	学校施設長寿命化計画の 進捗率	—	12.5%	基本目標2
イ	学校評価における地域連 携に係る項目の回答状況	56.7%	80.0%	基本目標2
イ	事業参加者満足度	93.4%	95.0%	基本目標2
イ	公民館、図書館、文化財課 が行う生涯学習事業の参 加者総数	24,700人	40,000人	基本目標2
イ	週1回以上スポーツを行 っている人の割合	51.2%	60.0%	基本目標2

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
イ	スポーツ施設(14施設)の利用率	59.9%	63.0%	基本目標2
イ	文化財課が行う事業に対する満足度	88%	70%	基本目標2
イ	文化祭入場者数	8,496人	9,500人	基本目標2
イ	朝霞市民まつり「彩夏祭」来場者数	730,000人	730,000人	基本目標2
イ	典型7公害苦情を受け付け、指導・要請した結果、是正された件数	4件	5件	基本目標2
イ	温室効果ガス排出量の削減率	23.2%	46.0%	基本目標2
イ	環境美化ポスターの応募者数	272人	200人	基本目標2
イ	市民一人当たりごみ排出量	524g/日	438g/日	基本目標2
イ	ごみ焼却処理施設の稼働率	98.36%	95%以上	基本目標2
イ	消費生活相談件数	812件	820件	基本目標2
イ	斎場利用率	52.3%	56.7%	基本目標2
イ	自治会・町内会加入率	35.6%	40.0%	基本目標2
イ	市民センター利用率	64.3%	62.7%	基本目標2
イ	NPO法人数	48法人	52法人	基本目標2
イ	団体の施設利用回数	510団体	525団体	基本目標2
ウ	市内人口に占める居住誘導区域内の人口割合	98.2%	98.3%	基本目標3
ウ	あずま南地区土地区画整理事業整備進捗率	29.8%	100%	基本目標3
ウ	朝霞駅南口駅前通りの歩行者交通量	778人/時間	870人/時間	基本目標3
ウ	歩道整備延長(累計)	80,063m	81,127m	基本目標3
ウ	市内循環バス(コミュニティバス)の年間利用者数	374,299人	397,325人	基本目標3
ウ	市内全域における緑地面積	394.52ha	396.79ha	基本目標3

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ウ	公園・緑地管理ボランティア団体数	24団体	29団体	基本目標3
ウ	景観の満足度	58.8%	67.0%	基本目標3
ウ	適切な管理が行われていない空き家の情報提供に対する解決割合	24%	20%	基本目標3
ウ	居住支援相談の満足度	98%	90%	基本目標3
ウ	基幹管路の耐震化率(上水道)	58.8%	94.6%	基本目標3
ウ	老朽化管渠の修繕改築工事延長	1.36 k m	1.36 k m	基本目標3
ウ	商店街活性化事業実施数	17回	27回	基本目標3
ウ	商工会加入率	51.0%	52.1%	基本目標3
ウ	企業誘致件数	1件	2件	基本目標3
ウ	認定農業者数	26人	32人	基本目標3
ウ	あさか産業フェア来場者数	20,000人	31,000人	基本目標3
ウ	認定特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明を発行した事業者数	15者	19者	基本目標3
ウ	ワーク・ライフ・グッドバランス認定企業件数	2件	19件	基本目標3
ウ	就職支援相談者数	8人	17人	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

朝霞市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安全に、安心して暮らせるまち事業

イ 自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち事業

ウ 快適に暮らせる、にぎわいのあるまち事業

② 事業の内容

ア 安全に、安心して暮らせるまち事業

「災害や犯罪への対策が充実しており、安全に暮らしていける」と実感できるまちをつくる事業、「子育て支援等の福祉サービスや、市民の健康づくりへの支援等が充実しており、安心して暮らしていける」と思えるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 災害対策の推進
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 消防体制の充実
- ・ 防犯のまちづくりの推進
- ・ 地域共生社会の構築
- ・ 誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現
- ・ 誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実
- ・ 誰もが安心して生活ができる支援の充実
- ・ こども・若者が健やかに育つための支援
- ・ こども・若者が夢を思い描くための支援
- ・ 子育て家庭を支えるための環境整備
- ・ 幼児期等の教育と保育の充実
- ・ 健康づくりの支援
- ・ 健康危機管理・地域医療の充実
- ・ 保険事業等の適正な運営 等

イ 自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち事業

「充実した教育を受けながら成長し、活躍する場がある」と実感でき

るまちをつくる事業、「恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりがあり、住みやすい環境がある」と思えるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 持続可能な社会の創り手の育成
- ・ 確かな学力と自立する力の育成
- ・ 多様なニーズに対応した教育の推進
- ・ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実
- ・ 学校施設の適切な維持・管理
- ・ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
- ・ 生涯にわたる学びの推進
- ・ 学びを支える環境の充実
- ・ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ・ 利用しやすい施設の提供
- ・ 歴史や伝統の保護・活用
- ・ 芸術文化の振興
- ・ 地域文化によるまちづくり
- ・ 住み良い環境づくりの推進
- ・ 低炭素・循環型社会の推進
- ・ 環境教育・環境学習の推進
- ・ ごみの減量・リサイクルの推進
- ・ ごみ処理体制の充実
- ・ 消費者の自立支援の充実
- ・ 安心できる葬祭の場の提供
- ・ コミュニティ活動の推進
- ・ 活動施設の充実
- ・ 市民活動への支援
- ・ 市民活動環境の充実 等

ウ 快適に暮らせる、にぎわいのあるまち事業

「道路や公園等のインフラが整備され、便利さと快適さがある」と実感できるまちをつくる事業、「地域の特性を生かした産業活力など、に

ぎわいがある」と思えるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・利便性の高いまちづくり
- ・特性の応じたまちづくり
- ・人中心の歩きたくなるまちづくり
- ・やさしさに配慮した道づくり
- ・良好な交通環境づくり
- ・まちの骨格となる緑づくり
- ・うるおいのある生活環境づくり
- ・まちの魅力を生み出す景観づくり
- ・安心して快適な住環境の整備
- ・安定した住生活の確保・支援
- ・上水道の整備・充実
- ・公共下水道の整備
- ・魅力ある商業機能の形成
- ・中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化
- ・企業誘致の推進
- ・都市農業の振興
- ・産業育成のための連携強化
- ・起業・創業の支援
- ・勤労者支援の充実
- ・雇用の促進 等

※なお、詳細は朝霞市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

14,200,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度5～7月に朝霞市外部評価委員会による効果検証を行い、翌年度以降の取組について検討する。検証後、速やかに本市WEBサイト上で結果を公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで